



2013年度決算説明会

— 2013年1月～12月 —

2014年2月14日

株式会社 **シーアイシー**

I. 2013年度決算概況

連結決算概要

単位：百万円

	2012年度	2013年度	前年度比		2013年度 予想	予想比 達成率
			増減額	増減率		
売上高	39,545	40,963	1,418	3.6%	40,000	102.4%
売上総利益	8,531	8,238	▲ 292	▲ 3.4%	—	—
(売上総利益率)	21.6%	20.1%				
営業利益	2,694	2,528	▲ 166	▲ 6.2%	2,800	90.3%
(営業利益率)	6.8%	6.2%			7.0%	
経常利益	2,887	2,664	▲ 223	▲ 7.7%	2,900	91.9%
(経常利益率)	7.3%	6.5%			7.3%	
当期純利益	1,194	1,514	319	26.8%	1,500	101.0%
(当期純利益率)	3.0%	3.7%			3.8%	

2013年度 決算のポイント

【ITサービス】

ハードウェア売上の寄与により増収となったものの、開発・運用体制高度化のための投資増と一部不採算案件の影響により減益

【BPO/BTOサービス】

医薬品開発支援の拡大が続き、増収増益

サービス別売上高と総利益(連結)

単位:百万円

売上高	2012年度		2013年度		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
構築	15,017	38.0%	14,410	35.2%	▲ 606	▲4.0%
運用管理	15,145	38.3%	16,221	39.6%	1,075	+7.1%
BPO/BTO	9,382	23.7%	10,331	25.2%	948	+10.1%
合計	39,545	100.0%	40,963	100.0%	1,418	+3.6%

売上総利益	2012年度		2013年度		増減	
	金額	利益率	金額	利益率	金額	増減率
構築	3,200	21.3%	2,599	18.0%	▲ 601	▲18.8%
運用管理	2,709	17.9%	2,717	16.8%	8	+0.3%
BPO/BTO	2,621	27.9%	2,921	28.3%	300	+11.5%
合計	8,531	21.6%	8,238	20.1%	▲ 292	▲3.4%

構築 : 金融向けは増加したが、信託など他の分野向けが減少
 運用 : サービスおよび医薬向けが伸長
 BPO/BTO: 医薬品開発支援サービスが引き続き堅調

業種別売上高(連結)

単位:百万円

	2012年度		2013年度		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
金融	3,840	9.7%	5,179	12.6%	1,339	+34.9%
信託	4,837	12.2%	3,788	9.3%	▲ 1,049	▲ 21.7%
医薬	14,098	35.7%	15,215	37.1%	1,117	+7.9%
食品	4,234	10.7%	4,125	10.1%	▲ 109	▲ 2.6%
製造	2,637	6.7%	2,271	5.5%	▲ 366	▲ 13.9%
サービス他	9,896	25.0%	10,382	25.4%	486	+4.9%
合計	39,545	100.0%	40,963	100.0%	1,418	+3.6%

受注・受注残の状況(連結)

単位:百万円

	2012年度		2013年度		受注高増減	
	受注高	受注残	受注高	受注残	金額	増減率
構築	14,489	2,317	14,331	2,237	▲ 157	▲ 1.1%
運用管理	15,366	6,230	15,909	5,919	543	3.5%
BPO・BTO	10,091	6,168	9,736	5,573	▲ 355	▲ 3.5%
金融	3,927	1,156	5,321	1,358	1,394	35.5%
信託	4,796	994	3,723	930	▲ 1,073	▲ 22.4%
医薬	14,471	7,780	14,369	6,936	▲ 102	▲ 0.7%
食品	4,289	1,014	4,106	995	▲ 182	▲ 4.3%
製造	2,579	976	2,118	823	▲ 461	▲ 17.9%
サービス他	9,882	2,793	10,338	2,686	455	4.6%
合計	39,947	14,716	39,977	13,730	30	0.1%

II. 事業環境と2014年度業績予想

事業環境

ITサービス市場の構造変化が鮮明に

- ▶ 従来型サービスへの価格低下圧力が常態化
- ▶ IT投資の重点がクラウド、モバイル、ビッグデータ活用などの分野に移行
- ▶ IT予算の海外シフトが進展

医薬品開発支援分野は成長を持続

- ▶ 製薬会社のアウトソーシング志向は継続
- ▶ グローバル化への対応が長期的成長に向けた課題

進展するグローバル化に適応しながら、
既存事業の強化と新規事業領域の拡大を
図るため

- ▶ インドIT企業のAccel Frontline Limitedを
子会社化(2013年12月9日発表)
- ▶ 本年4月1日付で持株会社体制に移行
(2013年12月11日発表)

Accel Frontline Limitedの子会社化

Accel社概要

- ▶ 社員数 2,000名超
- ▶ 売上高 4,013百万ルピー(約66億円、2013年3月期)
- ▶ 拠点 インド、米国、英国、中東(ドバイ)、
シンガポール



買収の狙い

- ▶ 海外サポート力の拡充
- ▶ 当社にとっての新規領域、かつ国内外で成長
性のある分野への進出

持株会社体制への移行

概要

- ▶ 4月1日付で商号を「株式会社CAC Holdings」に変更し、引き続き東証一部への上場を維持
- ▶ 100%子会社の「株式会社シーエーシー」が、グループ会社の経営管理を除く事業を承継

目的

- ▶ グループ戦略機能強化と経営資源の最適配分
- ▶ それぞれの業態に応じた各事業会社の成長
- ▶ グループでのグローバル対応力の強化

11

2014年度業績予想(連結)

単位:百万円

通期	2013年度 実績	2014年度 予想	前年度比
売上高	40,963	50,000	+22.1%
営業利益 (利益率)	2,528 6.2%	3,400 6.8%	+34.5%
経常利益 (利益率)	2,664 6.5%	3,200 6.4%	+20.1%
当期純利益 (利益率)	1,514 3.7%	2,300 4.6%	+51.9%



【お問合せ】

株式会社シーエーシー

広報IRグループ

TEL:03-6667-8010

<ホームページ>

<http://www.cac.co.jp/>